

委員会	屋代小学校区	議会答弁
議会全体及び 総務文教常任委員会	<p>○私は、キッチンカーの営業を始めました。庁舎の庭で営業をさせてほしいとお願いしたら、庁舎に入っているデイリーヤマザキが家賃無償の電気料のみで店舗を出していて、その契約上「庁舎の敷地内では他の飲食販売はできない」と言われました。コロナ禍にあってテイクアウトを推奨しているのに、庁舎で営業できないとはどういうことでしょうか。今は、商工会議所の駐車場を無償で貸していただいで営業しております。議員の皆さんは、もっと細かいところに目を向けて対応していただきたい。</p>	<p>○新庁舎になってからキッチンカーの営業や出前なども取ることが出来なくなるなどの制約があるのは事実です。建設時の契約のことですが、ご要望いただきましたので、今後改善できないか行政と議論してご報告申し上げます。⇒議会から要望し、ガレリアで営業が認められました。試験運用期間をすぎましたが、好評により継続して営業していただいでいます。</p>
	<p>○どうして県に対して三顧の礼をもって迎えた内田副市長の再任を認めなかったのか。今後副市長はどうするのか。</p>	<p>○結果的に、10対9で否決されました。議員個々の判断の結果としか申し上げられません。否決の理由としては、前市長に仕えていた方であるということ、屋代地区の開発本部長として、順調に行っていない責任などがあつたのではないかと。いずれにせよ市長の人事案件ですので、後任については議会は市長側からの提案を待つ立場です。⇒7月臨時議会が招集され、副市長人事について小川市長より大内保彦行政マネジメント室室長を副市長に提案され、全会一致で同意されました。</p>
	<p>○千曲市は交通要衝の地でもあり、素晴らしい場所にもかかわらず人口も減り、負債残高も増え弱体化が進んでいる。議会として一番大事な税率比率を高める対策について、もっとしっかり議論して進めてもらいたい。</p>	<p>○自主財源を高める努力は絶対に必要です。そうでなければ、やりたいことが出来ない自治体になってしまいます。国や県からの交付金は入ってきますが、それは民生費など必要経費に充当されますので、市独自の投資的な事業を進めるためには自主財源を上げていく必要があります。少子高齢化が増々進行し労働人口が減っていくということは、地方の自治体はどこも同じ状況に入って、今すでに都市間競争は始まっています。そんな中で千曲市の交通要衝の地や恵まれた環境を活かして市内へ企業を誘致し、屋代の大規模開発などによって税率を増やしていかなければなりません。議会もその趣旨で提言をしまいでいます。</p>
	<p>○このように議会が市民の中に入って来て「市民と語る会」を開催することは素晴らしいことです。今、若者が政治離れして来ている状況がより深刻になってきています。今後は、若者世代を対象に「市民と語る会」が行われれば、若い人の身近な意見が出て来てそれが市政に反映され、議会が自分たちの意見を聞いてくれて実現してくれたという事案が出てくれば、若者の目線も変わってくるのではないのでしょうか。</p>	<p>○ご提案ありがとうございます。これまで9地域で実施してくる中で好評をいただいできておりますが、今後の中でご提案の「若い世代」を対象としたり、「女性」を対象とするなど、より広い層の皆さんからご意見をいただけるよう検討していきたいと思いでいます。</p>
	<p>建設中の屋代焼却場の地代も低くなつてしまったのは、市が道路の整備などを進めてこなかつたからで、長野市大豆島の焼却場と比べて極端に低い。道路整備はそれほど大事なのに、議会は県からやつと連れてきた内田副市長の再任を認めなかつた。議会は何をやつているのか。一重山2号線を通すことも大事で、土地行政は税率を上げる基本であるのに、そのための人材である副市長を辞めさせてしまった。市長の人事案件などと言つていないで、議会も明確に方針を示すべきだ。</p>	<p>○長野広域で進めていた屋代5区の土地の単価交渉に関しては、その地域の査定に合わせるという上限設定があつたため地権者の皆様には不満があつたのではないかと思いでいます。一重山2号線も6年近く掛かるようですが、その先線に繋げることが重要となりますので議会としてもしっかり要望をしまいでいます。</p>
<p>○今から174年前に善光寺地震がありました。あと30年以内にまた必ず起きます。前回は稲荷山で数百人の犠牲者が出ています。今から住民に防災教育をしっかりと進めるべきではないか。</p>	<p>○善光寺地震について、弘化4年(1847)3月24日に稲荷山が甚大な被害を受けました。稲荷山には句碑があり毎年5月8日には慰霊祭が行われています。地域の子供たちにも防災教育として伝えてきていますし、今後も地震防災の教訓とさせていただきます。</p>	
福祉環境常任委員会	<p>○白鳥園について、指定管理が山崎建設になってから利用者が減つて経営が成り立たないというが、どうしてお客が減つているのか調査すべきだ。循環型の保守点検費用も調べてほしい。</p>	<p>○白鳥園の利用者減については、前指定管理者の日本レクシーも様々な企業努力をしまいでましたが黒字化は困難で5年の契約期間が終わり、その後の管理者が決まらない中、市から補助金を入れることで市内の山崎建設に決まりました。利用者減については委員会として調査して報告させていただきます。保守点検費用については市内にある4施設とも同様に掛かつております。</p> <p>○見込み客数が25万人程度との想定が出て、運営経費の面から循環式に変えることになりました。</p>

委員会	屋代小学校区	議会答弁
建設経済常任委員会	<p>○上山田中央緑地復旧工事3工区の変更請負契約について、増工によって3工区とも当初契約の倍になっているが、なぜ議会でしっかり審議されないのか。 市では1億5,000万円以上は議会承認が必要となっているが、これは1億5,000万円以下で契約させて、意図的に増工費を払ったのではないか。議会として情報公開申請をして明細について調査すべき。災害復旧工事の職人時給は4,000円だが、当該増工工事における末端の職人労務費時給も調べるべきで、とんでもない無駄遣いがあるのではないか。</p>	<p>○12月議会開会直前に、上山田中央緑地増工工事の資料が提示され、水害での広範にわたる土砂の堆積量が一定でなく正確に把握できなかったというもので、1回目の増工工事中にさらに多くの起伏から土砂があることが分かったので、2回目の増工になったとの説明でした。議会として初日即決でなく委員会で詳しく議論することになり、様々な反対意見などの議論がある中で、委員会として今後このような増工については、発生した時点で議会に報告をなささいという付帯決議を付けて議決することに致しました。この案件は災害復旧という緊急性を持つものですが、これまでも増工については度々問題視してきた経過があり、市民の皆さんにしっかりと説明がなされるように、議会として求めて参ります。</p>
	<p>○治水対策の堤防嵩上げについて、19号台風では自宅そばの堤防ではあと10cm程まで水が上がってきました。対岸の篠ノ井庄ノ宮地籍では越水し、まもなく雨宮緑地のマレットゴルフ場付近が越水、長野市長沼が堤防決壊となりましたが、長沼の決壊がなければ屋代6区の堤防は越水したと思います。対岸の庄ノ宮の堤防護岸工事はコンクリートパネル工法で堤防が40cm嵩上げして工事は終わりましたが、今度はこちら側の堤防が低くなっていますので改善が必要です。</p>	<p>○当然そのようなご懸念があらうかと思しますので、行政に伝えてまいります。現在、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトが国・県・沿川市町村で進められています。川の治水は下流からが原則ではありますが、各地で護岸工事などが行われています。一番は河床が上がってしまっていることが問題ですので、河床掘削工事は逐次やってまいりますし、屋代6区の皆様が心配する堤防の嵩上げや強化についてもしっかりと声を上げてまいりますので暫くお待ちください。</p>
	<p>こういう会(市民と語る会)を始めたことは一つの進歩と思います。 実はこれほど隆盛する資源を持った市は殆どありません。観光資源一つとっても、もの凄く奥深く色々チャレンジできる。3万坪のインタージャンクションが東西南北に伸びている市なんて何処にもない。しかし千曲市は全く活かされていない。 「千曲市を変える」「情報公開をする」「市民の知恵を借りる諮問委員会を作る」「観光ルートの開発を考える」「デジタル社会に向けて人材育成のまちをつくる」こうした公約は、小川市長には守ってもらわなければ困るんです。市議会議員が3分の1入れ替わったことで、議会が変わってきたことはもの凄く力強く感じました。 屋代地区の開発は、5年前にイオンが来ると言っていた。須坂市も同時のスタートでした。その時の新聞報道は、屋代の方が断然有利で、須坂は下請けがやるのに対し、屋代はイオンモールが来るんだと、それは当然のことです。3万坪のインタージャンクションを持っている市なんて無いんだからと我々は期待をしました。若い人たちも喜びましたが、しかし5年後の結果は、須坂は来年開店すると言ひ、しかも42haの土地が満杯に近い。千曲市は何一つ動かない。2億円近く使って調査しただけです。市会議員の皆さんにも過去について責任があると思います。こんなに良い市で人口が減っていくこと自体がおかしいんです。しかし、いよいよ千曲市も何とかかなるなと思っています。それはここに居られる市民を代表する市議会の皆さんがいらっしゃるからです。どうかプライドを持って、千曲市の若い人のために頑張ってください。</p>	<p>○ありがとうございます。(議会への)エールと受け止めて頑張ってください。</p> <p>○両氏のおっしゃることはその通りだと思います。屋代の開発については、市が土地区画整理事業組合準備会を支援している状態で、その中で1億5,000万円のお金を使っています。それについて我々は使途が正しかったのかどうかはしっかりチェックしていかなければならない立場にあります。議会としてまちづくりの方向性については注視し提言して行かなければいけないと思います。あくまでも地権者の皆様が主体となって方向性を持って進める事業ですし、それをまちづくりの観点からチェックして行くのは我々の仕事かなと思います。</p>
<p>元もと屋代地区の開発につきましては地権者240名のご賛同をいただいて、土地区画整理事業組合準備会を設立して法に則って動いています。市が推進しているわけでも、議会がやっている訳でもないことをご認識ください。 進出企業名も出ていますが、我々地権者が企業を選別します。最終的にどんな企業が来てどういう風になるのかもこれから詰めていきます。地権者の私的な権利ですから参考意見としてはお聞きしますけど、市がとか議会がという話ではないということをご理解いただきたい。そうでないと議会も間違った方向に行くのではと懸念しています。そこは気を付けていただきたいと思います。 240名の地権者が財産を提供してそこに誘致するというので、同意書ももらって動いていますので地権者でない皆さんが色々なことを言うと地権者は心配しますので、そこは私権の問題がありますので慎重にお願いしたいと思います。</p>		